

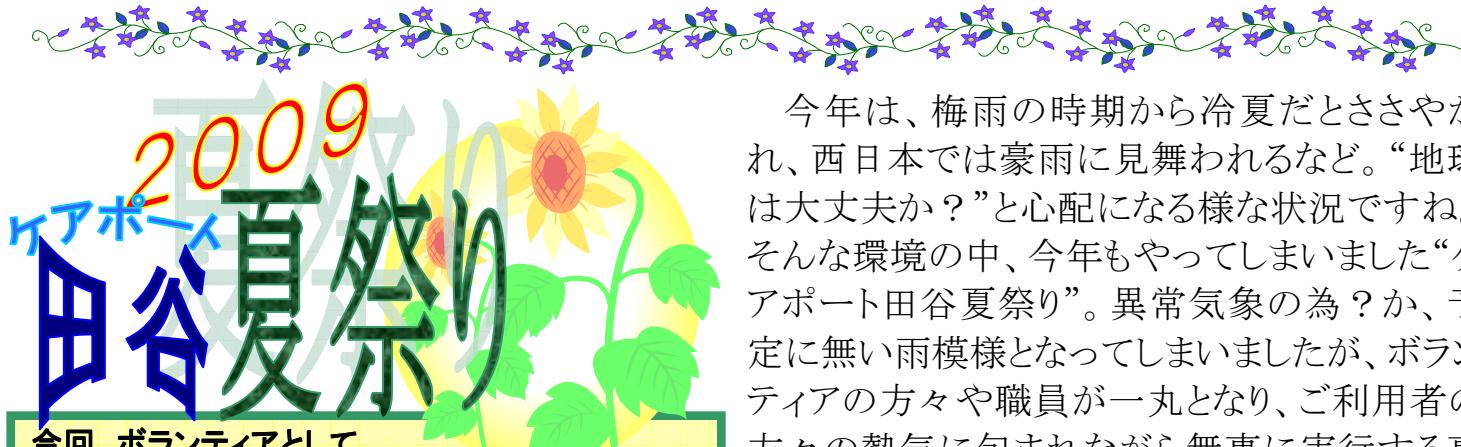
秋風に乗せて

今年は「平成の米騒動」と言われた平成5年以来の冷夏というだけでなく、これまで経験したことのない新型インフルエンザの流行も相まって、ご利用者並びにご家族の皆様におかれましては、とても不安な夏を過ごされたことと思います。

平成15年9月1日に開設した当施設も、お陰様で7年目を迎えることとなりました。山あり谷ありでしたが、無事に施設運営が出来ているのも皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。

この間、食事・居住費の自己負担化など、介護保険施設を取り巻く環境は大きく変化してきました。また、超高齢者社会を迎えるにあたり、これから先どのように変化していくのかも全く分からぬ現状です。

ただ、現にここで生活している利用者の皆様がいらっしゃる限り、職員一同精一杯のケアを実践していく所存です。まだまだ至らない点は多々あると思いますが、ご利用者並びにご家族の皆さまとは、笑顔で良い関係を築いていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願ひ申し上げます。



今回、ボランティアとして
 「栄区車椅子ダンス協会」「栄区ボランティア いで
 たち」「自主参加の千秀小学校生徒」様に御協力
 を頂きました。

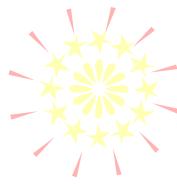


| =今回の内容= | |
|-------------------------|------------------|
| <u>秋風に乗せて</u> | 事務長:菊池 |
| <u>夏祭りを終えて</u> | 支援相談員:大高 |
| <u>夏祭りの思い出</u> | 2階介護:鴨志田 |
| <u>ティケア通信</u> | 支援相談員:酒井 |
| <u>いつも仕事をさぼっておりますが…</u> | いつも仕事をさぼっておりますが… |
| <u>編集後記</u> | 理学療法士:松谷 |
| | 理学療法士:清家 |

今年は、梅雨の時期から冷夏だとささやかれ、西日本では豪雨に見舞われるなど。“地球は大丈夫か?”と心配になる様な状況ですね。そんな環境の中、今年もやつてしまいました“ケアポート田谷夏祭り”。異常気象の為?か、予定に無い雨模様となってしまいましたが、ボランティアの方々や職員が一丸となり、ご利用者の方々の熱気に包まれながら無事に実行する事が出来ました。そこで、職員のコメントを中心に、熱気溢れる写真を掲載させて頂きます。熱中症に注意しながらご覧になってください。



夏祭りを終えて



こんにちは。支援相談員の大高です。この度は、ケアポート・田谷夏祭りにご協力頂きまして、誠にありがとうございました。

今年は初めて、外＆夕方開催となりました。入所者様の夕食を跨ぐ遅い時間帯であった為、フロア内内のスケジュール調整や、この時間帯においてもボランティアの方々にご協力をお願いできるか等、難しいところがありました。今年も4月から



毎週1回の委員会を開催し、職員の代表者により準備を進めてまいりましたが、結果準備不足を感じる状況で当日を迎えてしました。改めて完璧な準備は難しいと感じました。当日はこれまでの夏祭りにおいて初となる、雨の心配が必要になりました。初の試みである屋外実施を中心に実行計画を練ってきただけに、“屋内”“外”どちらをメインにするか、ギリギリまで判断を待ちました。午前中に降っていた雨も昼過ぎに晴れ間が見え始め、外をメイン会場に準備を進めました。祭り開始後30分位で雨が降り始めるなど、降ったり止んだりが終始続きました。その度に参加者の移動を伴うバタバタした状況となっていましたが、台風でも来ない限り今回以上天気に振り回されることはないであろうという印象です。色々な意味で、良くも悪くも初めての経験となりましたので、来年はさらに充実した夏祭りにできるよう努力したいと思います。



今回の夏祭り実施においてご協力頂いたボランティアの方々、ありがとうございました。並びに、不順な天候にもかかわらず、利用者様家族、近隣の方等、予想を上回る多くの方々にご来所して頂けた事に感謝いたしております。



お詫び

夏祭りの後半に参加して頂いた方々におかれましては、屋台食数の一部不足等でご迷惑をおかけてしまい、大変申しわけありませんでした。予想を上回る売れ行きで喜ばしい部分でもあるのですが、御利用いただいた方々の楽しみを奪い、不公平感に直結する部分でもあるため、猛烈に反省しております。来年は今回のようなことがないように、種類と量の充実を再考したいと思います。



夏祭りの思い出



午後四時から会場には、たこ焼き、焼き鳥、ジャガバター、どうもろこし、チョコバナナ、飲み物(アルコール飲料含む)、カキ氷などの店のほか、射的、ヨーヨー、Wiiなどの娯楽コーナーが用意され



て、利用者様約120名とご家族の合計数百名の参加があり、にぎやかになりました。天候不順の今夏は当日の降水確率も高く、雨が心配されていましたが、幸い祭りを締めくくる花火が始まる七時前までは雨もなく、行事を行うことができました。あいにく花火は、降り始めた雨の中で行われましたが、担当職員一同の懸命な段取り・進行努力で花火の美しさが夜空に開花し、しばし夏の情緒が会場全体に広がりました。



デイケア通信

ヒュルヒュルヒュル…ドーン！…パツ～！！

ケアポート・田谷の空に打ち上げられた「花火」。夏祭りにいらした方は事務所の前に飾られた壁画をご覧頂けましたでしょうか？

私達デイケアでは作業リハビ



リの一環として、年に数回大きな壁画の製作に取り組んでおります。材料は、折紙・新聞の広告・ペットボトルの蓋・毛糸・ボタン等、身近な物を使用し季節感あふれる作品に仕上げます。そして今回のテーマは「花火」。施設の夏祭りに合わせて6月の後半から作り始めました。色画用紙を5cm×3cm の大きさに切り、丸い棒を軸にしてその紙を丸めます。セロテープで止める事で完成するロールペーパーを、1個1個ボンドにて貼り合わせていきます。色の違うロールペーパーにより図柄を表現する為、使用したロールペーパーの数はおよそ20000個！この驚きの数により完成された作品が、デイケアへ参加して頂いている方々の御協力により作られました。

指先が不自由な方や片手しか使えない方も、にぎやかにお喋りしながらあるいは黙々と、少しでも良い作品になるように、それぞれが個性を發揮し協力し合いながら作り上げました。完成時には利用者様職員共に「おっー」と言う歓声、その見事さに拍手まで沸きあがりました。利用者様一人一人の想いが込められた「花火」です。まだご覧になられていない方、ぜひ一度デイルームに足をお運び下さい。花火を背景に記念写真、いかがでしょうか？

いつも仕事をさぼっておりますが…

八丈島にダイビングに行きました。ちょうどその時期には、台風9号が直撃したり、地震が起きましたが、現地では何も起きなく楽しく過ごしてきました。早朝から潜りはじめ、午前・午後・夕方とひたすら潜ります。地上にいるのはご飯食べるときか寝るときだけ。まさに合宿です。海は沖縄のような澄んだ青ではなく、黒潮の影響を受けた少し濃い青で「八丈ブルー」という名称で呼ばれています。八丈島には、私が普段行く伊豆では見

かけないお魚もいっぱいいます。例えばユウゼン。日本固有種のチョウチョウウオです。

初めて見つけた時には全速力で追いかけましたが、魚に逃げ切られてしまいました。ウミガメはお盆休みだったらしく、あまり多くは見つけられませんでした。普段みているお魚もサイズが大きかったです。

また海へ行ったら、写真と一緒にお知らせします。

写真はこの向きていいそうです。



うか？ 情勢が、この新聞の発行時にはどうなっているのでしょ

うか？ この“変わる”事も世の常なのでしょ

うが、今（編集時）世間で話題になっ

てくしの経験であり、反省する点も多々見えてきた様子です。変更したから内容が良くなるという訳ではないのですが、多大な労力を必要とした事は、容易に想像する事ができます。私達編集委員もこの事を見習い、常により良い内容を提供していく為には、努力し続ける必要性があることを、感じるきっかけになりました。

編集後記